

<学校名> 本庄市立本庄南小学校  
 <所在地> 本庄市栄3-6-24  
 <電話> 0495-22-2839  
 <本事例の特徴>

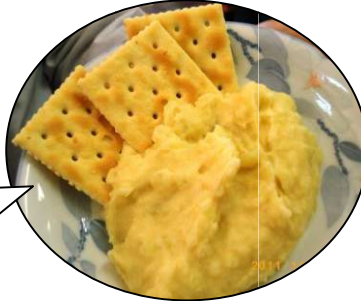
本校には、外国籍の児童が数名おり、6年生の総合的な学習の時間の中で、その保護者やALTに母国の特徴や文化などを紹介していただいている。授業後、各国について調べてまとめる国際理解教育の取組について紹介する。

<具体的な取組や成果>

●総合的な学習の時間の「国際理解教育」 ～保護者による文化紹介

- ・ペルー人の保護者には、ペルーの生活を話していただくだけでなく、ジャガイモをエバミルクでゆでた「プレデパパ」を児童と作っていただき、ペルーの国民的飲料のインカコーラと共に食した。児童は異国の食生活に触れる経験が少なく、その味に驚きながら食べ、とても心に残ったようだ。

プレはつぶす、パパはじゃがいもという意味で、作り方も簡単でした。ペルーではこの甘い料理が主食ということに驚きました。



- ・ブラジル人の保護者が自作した「ベジンニョ(甘いキス)」というココナッツの甘い小さなお菓子を食べて、ブラジルの地理や文化、日本とは違ってハグをするという習慣についてお話しいただいた。児童はブラジルを知ると共に、友達のことでも知ることができてうれしそうな様子だった。
- ・ナイジェリア人の保護者の方を招いて、同様に話しいただいた。日本とは違う環境に、児童は興味津々の様子だった。
- ・ALTに母国のコンゴ民主共和国での人々の生活や学校の様子などを、写真を用いて紹介していただいた。児童は、特に学校給食など自分たちの生活との違いを見つけながら、興味深く聞き入っていた。

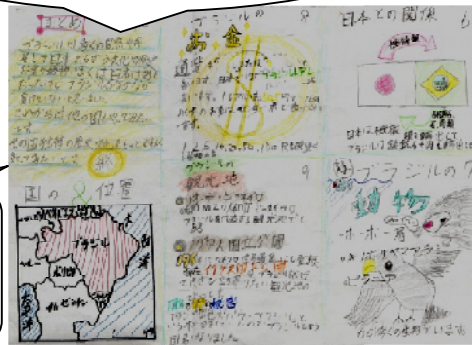
ナイジェリアを知る機会になってよかったです。今度はナイジェリアと日本や、アフリカの周りの国とも比べてみたいです。

ブラジルには多くの自然や動物、日本とは違う文化や歴史がありました。ぼくは日本が好きだけど、ブラジルもいい国だと思いました。



ナイジェリアの料理などに興味がわき、写真などを使ってまとめた。

ブラジルのことだけでなく、日本との関係や観光地についても調べた。



★学習を通して、他の国や日本についても知りたいと、児童の関心がより高まったようだ。